



# 世界を知る It knows the world.

このページは世界を知るをテーマに「国際協力」については、独立行政法人国際協力機構(JICA)デスク熊本のご協力を得て、日本で生活する私たちには日常知ることができない興味深い世界の状況を紹介いたします。

## エルサルバドルの小さな島にて

てんじん  
青年海外協力隊 天神さおりさん  
村落開発普及員 (熊本市出身)

中米に位置するエルサルバドルは、四国程度の大きさの、小さな国です。

エルサルバドルといえば、「内戦」というイメージを持つ方が多いかもしれません。

1992年まで13年ものあいだ続いた内戦は、今でもその傷跡を多く残しています。崩壊した建物に限らず、町を歩けば内戦で傷ついた、片足や片腕の無い人たちを目にする機会も多いです。又、治安が悪いことも重なり、ただでさえ日本で認知度の低いエルサルバドルには、あまり良い印象を持つことは少ないでしょう。

しかし実際は、悪いことばかりではありません。サルバドル人はみんな明るくフレンドリーで、男性が女性やお年寄りに優しいことは特に印象的です。

今では首都は非常に発展していますし、素敵な観光地もあります。エルサルバドルの海はサーフィンでも人気が高いそうです。

私は2011年1月より、青年海外協力隊の村落開発普及員としてこの国で活動を行っています。私の任地は首都から南東へ280km程離れたフォンセカ湾内にある島、メアングラ・デル・ゴルフォ島。本土からボートで1時間の場所にある、市場も無い小さな島ですが、目の前には広い海と隣国ホンジュラス、ニカラグアが望めるとても素敵な場所です。

島民はみんな優しく、たった1人で突然島にやってきた外国人である私に対しても、沢山の人が良くしてくれて、すぐに多くの友人ができました。

現在の仕事は大きく分けて2つあります。

まず1つ目は、牡蠣の養殖に関する仕事です。



ここでは以前、漁民の生計向上を目的としたモデルプロジェクトが実施されていました。それにより1つのグループが現在牡蠣の養殖を行っていますが、自立発展の過程で組織強化や養殖生産物流通のための支援を必要としています。

そして2つ目は、女性グループの確立と指導。

今は約30人の女性を集めて、ビーズや貝殻・植物の種などを使ったアクセサリー作りのワークショップを行っています。この女性達をしっかりと組織化することで、今後の島の発展に少なからず影響を与えることができると考えていますが、まだまだ始まったばかりで難しいところです。

近い将来は、牡蠣の養殖に必要な網かごをこの女性グループに作ってもらい、漁民と女性達が連携していく体制を作りたいと考えています。

エルサルバドルへ赴任して早5ヶ月が経ちました。

まだまだ仕事は試行錯誤の毎日で不安なことや辛いことももちろんありますが、1つずつ自分にできることを、そして、楽しみを見つけながら頑張っています。

2年後エルサルバドルを愛しみつつ、笑顔で日本へ帰国できるように、毎日を大切にしてください。

## あなたの企業も一緒に情報発信しませんか!?

この「ニュースレターくまもと」は、当事業団の機関紙として平成7年11月の創刊以来、熊本の国際交流・協力に関する情報を、日本各地の国際交流協会、国際交流・協力機関や市民、在住外国人の方々を中心に幅広く発信し、国際交流・協心に感心を持つ人、開発教育関係の教育者、留学を考えている人、異文化理解に興味を持つ人など、多くの方々にご愛読いただいています。

\* web でも公開しています。( <http://www.kumamoto-if.or.jp/> )

発行：年4回(4月、7月、10月、1月) 部数：3,000部

配布先：市内の小・中学校、高校、大学、全国の国際交流協会、市内の国際交流・協力団体、当事業団のボランティア登録者及び賛助会員(約500名)、熊本市役所関係機関(市民センター、公民館等)、熊本市国際交流会館内

広告の種類：1/4ページ(この広告募集のサイズです)

契約期間及び料金：単発(1回) 20,000円、半年契約(2回) 30,000円、年間契約(4回) 40,000円